おおつ市議会だより

第159号
令和5年4月30日発行

2月通常会議
(令和5年2月20日～3月24日)

つながる、ひらく、みらいへ
大津市議会
Otsu City Council

Pick up! P2-3 大津市議会の4年間の議会活動を振り返って

Pick up! P4-5 令和5年度当初予算「夢があふれるまち大津」の実現

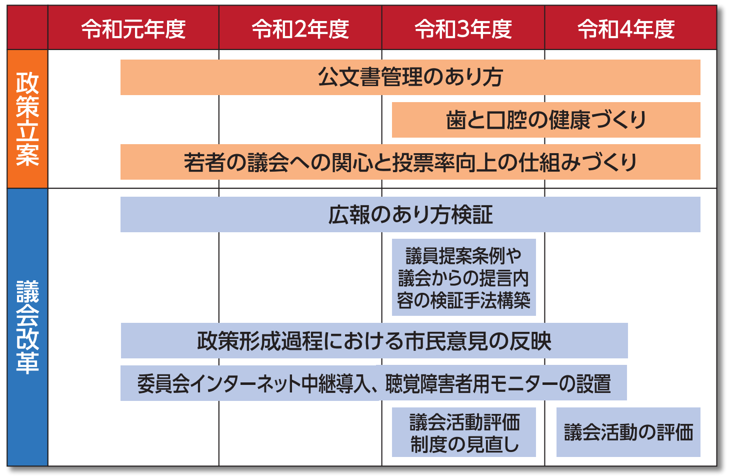
特集　大津市議会の4年間を振り返って

新しい4年間へのバトン

令和５年５月１日から大津市議会議員の新しい任期が始まります。これから始まる４年間へとつなげるため、これまでの４年間での取り組みを評価・検証しました。

議会活動の見える化　ミッションロードマップ 2019

ミッションロードマップは、4年間の任期の中、「政策立案」と「議会改革」の分野で議会全体として取り組むテーマとその工程をあらかじめ決定した実行計画で、令和元年度からの4年間、9つの実行テーマに取り組みました。



コロナ禍の影響により、活動を一時中断することもありましたが、いずれの実行テーマも着実に取り組むことができました。

それぞれの取り組みに対する検証・評価結果はこちら

自分たちで! 市民目線で! 外部有識者の視点で!　4年間の議会活動を評価

市議会としての自己評価、連携協定を結んでいる3大学の教授による外部有識者の評価、また、市民目線での評価としての大学生の評価と、さまざまな視点から大津市議会の4年間の議会活動を評価しました。

議会活動を大きく4つの視点で評価しました

議案審査・調査	議会の機能強化	政策立案・提言	広報広聴
①議案審査 ②所管事務調査	①ICTの活用 ②議事運営の見直し ③大学との連携	①政策検討会議における政策立案 ②決議・意見書案の提出	①議会だよりの充実 ②広報広聴ビジョン策定に向けた取り組み ③市民意見の聴取

評価結果はこちら

議会活動の評価を踏まえ　龍谷大学政策学部ゼミ生と意見交換

市民目線での議会活動の評価をお願いした龍谷大学政策学部今里ゼミ生と議会運営委員会の委員などによる意見交換会を開催しました。評価項目ごとのグループに分かれて意見交換する中で、評価作業を通じて感じた議会に対する疑問や意見が学生から出されたほか、議員からは、若い世代が政治や議会に参画したくなるアイデアなどを求めました。

また、学生は今回の議会評価の過程の中で特に議会の広報広聴に着目した考察を深めるとともに、若い世代の市議会に対する関心を高める方策についてとりまとめられ、議場においてその内容を発表されました。

くわしくはこちら

議案審査・調査

- 議場の大型スクリーンに資料を映して質問すると、情報量が増えるので分かりやすい
- 請願などは、なぜ賛成か反対か分かる仕組みがあるといい

議会の機能強化/政策立案・提言

- ICTを積極的に使っているのが良い
- 動画などをもっと活用しては
- 学生と一緒に政策立案するような仕組みがあるとおもしろい

広報広聴

- 若者がよく使うLINEを導入し、将来的には返信機能を使った広聴につなげては
- 対面して小グループで議員と話すことは、若い世代の関心向上につながる

これまでの振り返りを次につなげる　次期議会へのメッセージ

ミッションロードマップの検証・評価や議会活動の評価などを踏まえて、今後の課題などを含めて新たな任期の議会活動において参考にしてほしいことを次期の議会へのメッセージとしてまとめました。

- ○ ICTの活用
- ○ 大学との連携の在り方を検討
- ○ 効果的な政策検討会議の活用
- ○ 多様な市民意見の聴取
- ○ 議事運営の透明性向上
- ○ 議案審査のプロセス見直し
- ○ 質疑・一般質問の在り方の見直し
- ○ 所管事務調査の在り方を検討
- ○ オンライン本会議実現に向けた取り組み
- ○ 広報広聴ビジョンアクションプランの推進

くわしくはこちら

2月通常会議の概要

審議期間：令和５年２月20日㈪ ▶ ３月24日㈮ 33日間

　本通常会議では、ポストコロナ社会を見据え、子育て支援や地域経済の活性化などに重点を置いた過去最大規模の令和５年度一般会計予算をはじめ、副市長の選任、2025年の国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会に関する業務に従事する職員の増員に伴う職員定数条例の一部改正など、合計71件の議案が市長から提出されました。また、市議会からは、個人情報の保護に関する法律の改正に伴う大津市議会個人情報保護条例の制定など２件の会議案を提出しました。採決の結果、すべての議案を可決・同意しました。

　このほか、11件の意見書案の提出があり、「認知症の方も家族も安心して生活できる社会の構築を求める意見書」など４件の意見書を可決しました。請願は３件提出があり、審査した結果、いずれも不採択となりました。

予算の詳細はこちら　令和5年度予算　令和4年度補正予算

『夢があふれるまち大津』を実現する 令和５年度予算

大津市総合計画 第２期実行計画 リーディングプロジェクト

「まちの魅力、地域の力のさらなる向上」

1　**子育て支援**
妊娠、出産、子育て期の切れ目のない支援を推進

2　**学びの環境づくり**
次代を生き抜く力、特色ある学校づくり、多様な学びの推進

3　**健康長寿**
健康寿命の延伸と高齢社会に備えた体制づくり

4　**魅力発信とにぎわいづくり**
自然・歴史、文化・スポーツなどの資源を生かした魅力発信

5　**暮らし安心**
安心・安全、地域や人のつながりを大切にするまちづくり

横断的な取り組みによる相乗効果

ポストコロナ社会の課題への取り組み

1　**子ども・子育て施策の強化**
①３人目以降の児童生徒に係る給食費の免除
②中学校卒業までの医療費助成の拡充
③市独自の新生児等特別定額給付金の継続
④ライフステージに応じた支援の充実

2　**健康リスクの低減**
①高年齢期の健康づくりの多面的な支援
②医療提供体制の充実に向けたさらなる支援
③がん検診受診率の向上

3　**地域経済の回復と活力ある地域づくり**
①市内への事業所移転促進および市内事業者への支援
②地域資源を生かした観光振興
③大河ドラマ「光る君へ」関連事業の展開
④文化財の保存・活用の推進、歴史文化の魅力発見

4　**※DX・GXの推進**
①自治会や各種団体、中小事業者のDX推進の支援
②市民センターへの無料公衆Wi-Fi環境の整備
③公共施設や道路照明灯、商店街灯のLED化の促進
④省エネ家電購入促進事業の拡充

財政規律の堅持・大津市行政改革プラン2021の取り組み

R５予算　中学校卒業までの医療費助成の拡充

　より安心して子育てしやすい環境を整備するため、小学校卒業までとしていた医療費の助成を中学校卒業まで拡充します。（令和５年10月診療分より）

窓口での自己負担は…
〇入院医療費：病院ごとに1,000円/日
（限度額14,000円/月）
〇通院医療費：１診療報酬明細書あたり500円/月
(注)県外受診など、受給券が利用できない場合があります。その場合は償還払いの手続きが必要になります。

R５予算　３人目以降の児童生徒に係る給食費の免除

　子育てに対する経済的負担を軽減するため、３人目以降の児童生徒の給食費を免除します。

事業内容
大津市立の小中学校へ通う児童生徒のうち、18歳以下の子で３人目以降の児童生徒に係る学校給食について、申請に基づき免除を行います。
制度開始は令和５年10月を予定しています。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）　ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変更させるという概念
GX（グリーントランスフォーメーション）　クリーンエネルギーを主とした社会システムへの変革を目指す取り組み

R５予算　文化財の保存・活用の推進、歴史文化の魅力発見

　本市の豊かな歴史文化遺産の新たな魅力を発見し、その魅力を国内外に発信するため、文化財保護課、歴史博物館、文化振興課が連携し、歴史文化の保存と活用を踏まえた歴史文化魅力発見事業を展開します。

事業内容　国登録文化財保存活用補助、文化財説明板多言語化、未指定文化財調査、文化財３Dレーザースキャナー計測、回遊型コラボレーション　など

R５予算　高年齢期の健康づくりの多面的な支援

　高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら生活を営めるよう、総合的な介護予防に取り組みます。

事業内容
〇高齢者のフレイル予防、啓発
　65歳を対象に、介護予防パンフレットと併せてフィットネスジムなどの体験チケットを配布
〇保健事業と介護予防の一体的実施事業
〇老人福祉センターの機能充実
　中老人福祉センターの改修、運動器具などの購入

R５予算　市民センターへの無料公衆Wi-Fi環境の整備

　市民のデジタル活用を促進するため、全市民センターに市民向け無料公衆Wi-Fi環境を整備するとともに、支所窓口や会議室での利用を想定して持ち運び可能なポータブル通信機器を配備し、令和５年10月以降、順次運用を開始する予定です。

R５予算　地域資源を生かした観光振興

　大津（大津閘門）と京都・蹴上（旧御所水道ポンプ室）を結ぶ琵琶湖疏水通船について、運航区間を琵琶湖（大津港）まで延伸する実証運航を実施します。

琵琶湖疏水とは　明治23年に造られた貴重な産業遺産であり、「京都と大津を繋ぐ希望の水路　琵琶湖疏水～舟に乗り、歩いて触れる明治のひととき」として日本遺産に認定されています。

R４補正予算　児童の通園などの送迎車両への安全装置設置経費

　近年相次いだ園児などの送迎バス車内の置き去り事故を防ぐため、令和５年４月から保育所、幼稚園、認定こども園、特別支援学校などにおいて、送迎バスなどの自動車を運行する場合、乗降車時の点呼などによる児童の所在確認とともに、当該自動車への安全装置の装備が義務化されたことなどを受け、これに要する経費を補正します。

条例改正　大津祭曳山展示館条例の一部改正

　大津祭の曳山に関する資料の収集や展示を行っている大津祭曳山展示館について、展示の観覧に係る利用料金を新設します。

改正概要
〇条例施行期日：令和６年４月１日
〇利用料金　【　】は15人以上の団体利用料金
　大人（中学生以上）：150円【120円】
　市内高齢者（65歳以上）：100円【80円】
　小学生：70円【50円】
　※小学生未満および障害者や要介護者（諸要件あり）とその介護者は無料

トピックス

２月特別会議
審議期間　２月６日㈪１日間

　子育て世帯への生活支援に係る経費などを計上した令和４年度一般会計補正予算と、大津市が係争中の訴訟に係る上告の提起及び上告受理の申立てについての２件の議案が提出され、いずれの議案も全会一致で可決しました。

令和4年度 補正予算

３月特別会議
審議期間　３月31日㈮１日間

　地方税法等の一部改正に伴う市税条例の一部改正と、エネルギー・食料品等の価格高騰への対策経費などを計上した令和５年度一般会計補正予算の２件の議案が提出され、いずれの議案も全会一致で可決しました。

令和5年度 補正予算

※本コーナーは、いずれも議決した予算や条例の内容をお知らせするものであり、まだ事業が実施されていない場合などがあります。

委員会活動レポート

２月通常会議では、常任委員会における議案の審査結果を報告する委員長報告のほか、常任・特別委員会での年間の活動内容についても委員長報告が行われます。今回は３つの特別委員会の委員長報告をご紹介します。

常任委員会　全議員がいずれかの委員会に所属し、条例などの議案や請願を審査するほか、所管する部局の事務を調査します。

特別委員会　特定の事項を調査するために必要に応じて設置され、複数の常任委員会にまたがる案件や市政の重要課題などを調査します。

公共施設対策特別委員会

調査事項　公共施設の整備、管理に関する諸問題

市庁舎をはじめとする公共施設の更新や維持管理の着実な推進を

必要な耐震化が図られていない市役所本館および別館の整備に向けた市庁舎整備基本構想の策定や、基本構想策定後の庁舎整備基本計画策定に向けた取り組みのほか、公共施設において共通する維持管理業務を業者に一括で委託する施設包括管理業務委託の導入について、調査しました。

市庁舎整備の取り組みが前進したことは評価しますが、庁舎整備への市民理解を促進しつつ、目的や対象、庁舎に求める機能などを明確にした上での市民参加型ワークショップの実施、具体的な整備スケジュールなどの明示に向けた一層の取り組みを求めます。

施設包括管理業務委託の導入に当たっては、費用対効果や品質確保について市民への説明責任を果たせるよう慎重に検討を進めることや、再委託時の公平性や透明性の確保など、市内事業者へ丁寧な説明と周知を求めます。

市議会においても議論を深め、今後もこれらの取り組みを注視していくことを申し添え、終了報告とします。

ＩＣＴ活用対策特別委員会

調査事項　ＩＣＴを活用した市民サービスの向上と行政の効率化に関する諸問題

組織を挙げたＤＸ推進を

ＡＩなどの先進技術や既存のＩＣＴ技術を活用し、行政事務・サービスの在り方を見直すことで、本市全体の新たな価値創出に向けたデジタルイノベーションシティの実現を目指す方針・戦略である大津市デジタルイノベーション戦略における各種取り組みなどについて調査しました。

システムの導入により、業務の効率化、人員削減が可能となり、少人数でも必要な行政サービスが確保できるものは導入を進め、一方で、相談業務などの人と時間が必要な業務に対しては人員の強化を図るなど、全体を俯瞰（ふかん）しながら組織を挙げてＤＸの推進に取り組み、職員、市民の満足度の向上を図られるよう求めます。

また、デジタルディバイド※対策については、デジタル機器に不慣れな方が、安全安心かつ十分にサービスを活用していけるよう、市民が持つ疑問や不安など、気軽に相談できる場を提供するなど、引き続き、デジタルディバイドの解消に向けた取り組みに努めるよう求め、終了報告とします。

ゼロカーボンシティ推進対策特別委員会

調査事項　ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みに関する諸問題

カーボンニュートラルの実現へ

カーボンニュートラルとは、地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出を全体としてゼロにすることを意味しており、本市は２０５０年カーボンニュートラルの実現を見据えた大津市ゼロカーボンシティ宣言をしています。

その中で、太陽光をはじめとしたクリーンエネルギーの活用や、電気自動車の公用車としての試験的導入、学校給食におけるフードロス対策、脱炭素の観点からの交通政策などについて調査・研究しました。

近年の地球温暖化の影響による深刻な気象災害の発生は、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしており、待ったなしの状況にあると言えることから、脱炭素に資するこれらの事業への積極的な取り組みを求めるとともに、幅広い視点での周知啓発や、事業に伴い生じる課題に十分留意すること、そして市民、事業者と一体となって各種取り組みを着実に推進することを求め、終了報告とします。

※デジタルディバイド　IT（情報技術）を利用できる層とできない層との間で生じる格差のこと

各派代表質問

代表質問は３人以上の議員で構成される会派の代表が行います。３月１日には、５つの会派を代表する議員が、市政全般にわたるさまざまな質問を行いました。

ここでは、それぞれの議員がいくつかの質問をした中から、代表的な項目を選んで、質問と答弁の要旨を掲載しています。

新和会　仲野　弘子

令和５年度の市政運営

問　市長の現任期最終年として、これまでの取り組みの成果をより実感してもらうべき年度であることを踏まえた市政運営の方針と決意は

答　総合計画第２期実行計画を着実に前進させるとともに、今やるべきことをしっかりやるという決意のもと、ポストコロナ社会の課題への対応として「子ども・子育て施策の強化」、「健康リスクの低減」、「地域経済の回復と活力ある地域づくり」、「ＤＸ・ＧＸの推進」に取り組む。

高齢者の健康づくりに対する意識啓発

問　コロナ禍の行動制限で生活習慣が変化し、健康づくりの意識が薄れた方が多いのではないかと懸念している。取り組みを効果的に行うには、これまで以上の啓発が必要では

答　高齢者の健康づくりの支援は、フレイル予防や健康寿命の延伸につながる重要な取り組みであるため、広報おおつやＳＮＳなどを活用した市からの情報発信に加え、健康推進員や民間企業などの協力を得ながら多様な主体による啓発に努めていく。

子どもや家庭への部局横断的な支援体制

問　子どもたちの抱える課題や困難が多様化、複雑化し、複合的な課題も多くなる中、課題解消を図っていくには部局横断的な情報共有・連携の体制が不可欠だが、今後の体制は

答　福祉や教育などの多様な所属で構成する要保護児童対策地域協議会で情報共有や関係機関と連携した支援に取り組んでおり、今後も同協議会での連携を深め、子どもや家庭に寄り添った支援につなげていく。

都市計画道路整備の推進

問　令和４年度に新たに策定した道路網整備計画の下で、都市計画道路の整備を加速させることを期待するが、整備に関する今後の考えは

答　計画は、国・県や隣接市との連携によるネットワークとして整備効果が高い路線を評価して策定しており、今後25年間の整備方針および優先度が高い路線を示す道路網整備マスタープランと今後５年間の取り組みを示す道路整備アクションプログラムに基づき進めていく。

学校夢づくり＋（プラス）

問　トップアスリートや作家などとの交流を通じて、自分らしい生き方や夢を実現するための力を育成することを目指して新たに予算を措置した「学校夢づくり＋（プラス）」に期待する効果は

答　夢の実現に向けた懸命な努力や生き方を当事者から聞くことは、困難な場面でも諦めないこと、周囲への感謝の気持ちを忘れないことなどを学ぶかけがえのない機会となることから、子どもたちが夢や希望を持ち、目標に向かってチャレンジするきっかけとなることを期待して実施していきたいと考えている。

その他の質問　令和５年度予算編成
庁舎整備　交通施策　地域経済の回復
訪問診療や訪問看護体制の充実支援

インターネット中継はこちら

湖誠会

近藤　眞弘

子ども・子育て支援の推進

問　子ども医療費助成の拡充に伴う安定的な財源確保と、子ども・子育て支援施策の推進に向けた方策は

答　中学校卒業までを対象とした医療費助成の新制度創設と財政負担を県へ要望しているほか、子ども・若者支援計画を策定し、計画的に施策を推進している。今後、こども家庭庁の取り組みも注視しつつ、令和5年度実施予定のニーズ調査などで把握した課題を次期計画に盛り込むなど、子どもが健やかに成長し、保護者が安心して生き生きと子育てできる社会の実現を目指していく。

市長就任後3年間の評価と今後の市政運営

問　3年間の市政運営の成果や課題を含めた評価と今後の進め方は

答　新型コロナ対策に継続的に取り組むとともに、急激な物価上昇に直面する市民や事業者への支援など、暮らしと営みを守るため、機動的に対応してきた。今後も、総合計画第2期実行計画の着実な推進とポストコロナ社会への対応によって、夢があふれるまち大津の実現を目指す。

道路網整備の推進と道路維持管理の強化

問　将来の総合的な道路網整備と道路維持管理の強化に向けた方針は

答　今後25年間の整備方針や整備優先度が高い路線を示した道路網整備マスタープランと、具体的な取り組みを示した道路整備アクションプログラムに基づいた道路整備を進めるほか、舗装長寿命化修繕計画に基づく国の補助制度を活用した改修の推進に加え、令和5年度は道路維持管理予算を6600万円増額し、適切な道路維持管理に取り組んでいく。

その他の質問　令和5年度予算編成
国スポ・障スポ開催に向けた取り組み
持続可能な組織運営　地域産業の振興

大津市議会公明党議員団

濵奧　修利

伴走型※相談支援の充実

問　伴走型相談支援の充実に向けて、さらなる人材の確保や育成のための体制整備とともに、寄り添う伴走型相談支援と経済的支援の「出産・子育て応援交付金」の財源の恒久化を国や県に対して要望すべきでは

答　全てのすこやか相談所へ助産師を配置し、地区担当保健師を含む人材の育成に継続的に取り組むことで、妊娠期から低年齢期の子育てまで寄り添った支援を充実していく。今後も継続した事業の実施が必要であることから、国への要望とともに、県にも要望に向けて働き掛けていく。

情報のバリアフリー化

問　障がいの有無にかかわらず、暮らしやすく、活躍できるまちづくりのために、あらゆる情報バリアフリーへの取り組みを推進すべきでは

答　支所窓口に設置したタブレット端末でのオンライン手話通訳などに取り組んでおり、今後も全ての障がいがある人に対する情報バリアフリーの推進に向け、当事者の声を丁寧に聞き取りながら、関係機関や関係部局との連携を図っていく。

災害時の帰宅困難者への支援

問　災害時の帰宅困難者に対しては、待機場所の開放や備蓄品の提供などの支援が必要だが、令和5年1月に発生した雪害を受けての見解は

答　駅周辺市有施設や協力を得た民間施設を一時滞在施設として開設することや、必要に応じて非常食などの備蓄品を提供することを想定しており、本事案発生後、協定を締結している事業者と一時滞在施設の開設手順について改めて確認を行った。

その他の質問　令和5年度予算編成
教育環境の整備　地域のGX促進
中小企業・小規模事業者支援

※伴走型相談支援　妊娠期から出産・産後、育児期といった各段階に応じて、全ての妊婦や子育て家庭に寄り添った身近な相談体制のこと

市民ネット21

嘉田　修平

スポーツの推進

問　国スポ・障スポ※を契機に、市民のスポーツに対する関心の高まりなどが期待される中、本市のスポーツ推進計画の進捗状況と、今後、スポーツへの関心を広い世代に対してレガシーとして残していくための取り組みは

答　本計画では、実施計画に基づきスポーツイベントの実施やスポーツ団体が実施する活動への支援などを行っており、本大会を市民のスポーツへの関心を高める好機と考え、多くのスポーツを体験してもらう機会の創出と情報発信に努めていく。

スマート自治体の実現

問　市行政改革プラン2021に基づくスマート自治体の実現に向けた取り組みの令和3年度からの進捗状況と、成果を踏まえた今後の方針は

答　LINEを活用した行政サービスの提供や、電子申請による行政手続きのオンライン化など、着実に進捗していると評価しており、今後も国の各種計画を踏まえつつ、市デジタルイノベーション戦略に基づき取り組みを推進していく。

就学援助費の増額

問　物価の高騰により、教育にかかる費用も上がると予想され、家庭環境の著しい格差が子どもたちの学びに影響しないよう、就学援助費の増額が必要と考えるが、今後の対応は

答　就学に必要な物品の値上げや自治体間格差に対応するため、令和5年度当初予算において、就学援助費の金額をさらに増額し、全ての費目において国の示す基準に準じた金額としている。

その他の質問　市長の政治姿勢
子ども・子育て施策　地域公共交通計画
庁舎整備　カーボンニュートラル

日本共産党大津市会議員団

杉浦　智子

学校給食費の無償化

問　憲法が定める「義務教育は無償」の原則に基づき、国に学校給食費の無償化の実施を強く求めるとともに、本市でも無償化に向けた取り組みを進めるべきでは

答　多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、3人目以降の給食費を免除する予定だが、全ての児童生徒の給食費を免除することについては、学校給食に係る経費は学校設置者と保護者が分担するという学校給食法の趣旨に合わず、多額の財源確保も必要となることから、国への要望を含めて考えていない。

令和5年度の国民健康保険料

問　コロナ禍に加え、物価高騰で暮らしが厳しい現状に鑑み、市民の暮らしを支えるためにも、保険料を引き上げるべきではないと考えるが、令和5年度の保険料の見通しは

答　被保険者世帯の家計の安定のため、毎年度の保険料を乱高下させないことを主眼としている。今後、財政調整基金の活用などを慎重に検討した上で、適切な保険料率を決定し、持続可能な財政運営に努める。

国の軍備拡張に対する見解

問　国の軍事費増額による軍備拡張の方針は、市民生活に大きな影響を及ぼすと考えられるが、市民の命を守るべき立場である市の見解は

答　国の責任において十分な議論の上で対応されるべきものとの認識であり、国民の命と平和な暮らしを守ることは、国の最も重要な責務であると考える。市の立場としては、引き続き安心安全なまちづくりに全力を尽くしていきたいと考えている。

その他の質問　物価高騰対策
市民の命と健康を守る　防災・減災
ジェンダー平等社会の実現　原発ゼロ

※国スポ・障スポ　2023年に国民体育大会から改称される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の略称

質疑・一般質問

本会議の模様をインターネットで録画配信しています。

質疑・一般質問の項目一覧は、市議会ホームページに掲載しています。

２月通常会議では、26人の議員が、まちづくり、くらし、教育、福祉・医療など、さまざまな分野にわたり質問しました。各議員がいくつか質問した中から一つを選び、カテゴリーごとに紹介しています。

なお、「質疑」は提出された議案に対する質問、「一般質問」は市政全般に対する質問のことをいいます。

まちづくり

都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線拡幅工事の進捗は

新和会　細川俊行

問　地域住民も新たなまちづくりへの起爆剤になると期待している本事業について、令和５年３月時点での進捗状況や課題、今後の見通しは

答　全体のうち約76％の用地契約が完了し、順次、可能な限り側溝の設置や舗装を行っている。坂本地域は重要な観光拠点であり、景観に配慮しつつ、地域住民とも意見交換し、令和９年度の工事完了を目指す。

拡幅工事の様子

地域公共交通の維持確保に向け全市的な課題認識の共有を

新和会　笠谷洋佑

問　地域公共交通の維持確保に向け、課題や取り組みなどを広く周知し、現時点で当事者でない地域の住民にも、自らの問題として捉えてもらうよう課題認識の共有が必要では

答　市政番組や出前講座などで公共交通の利用や地域が主体となった移動手段確保の取り組みを周知しており、市のイベントなどあらゆる機会で積極的な情報発信に努めていく。

山中比叡平学区のバス路線維持・充実のため赤字補填を

共産党議員団　柏木敬友子

問　経費削減を目的に減便された山中比叡平学区のバス路線について、事業者がバス路線を維持、充実できるよう、市が責任をもって全ての赤字を補填すべきと考えるが、見解は

答　補助金算定に用いる標準単価を見直すことで補助の充実を図っているが、交通事業者の赤字の全てを市が補填することは極めて困難であり、想定していない。

利用者の声を反映したデマンドタクシーの運行方法変更を

共産党議員団　小島義雄

問　志賀地域のデマンド型乗り合いタクシーの運行方式を停留所方式に変更するに当たり、変更後の影響への救済策を利用者に示すべきでは

答　利用実績などを踏まえて、停留所を約90カ所程度追加設置できるよう調整を進めている。今後も運行を続ける中で、停留所の位置などについても、利用者の声を聴きながら柔軟に対応していく。

くらし

高齢者などの買い物支援に移動販売車などの導入検討を

公明党議員団　中田一子

問　自宅と店舗が500m以上離れ、かつ自動車の利用が困難ないわゆる買い物難民に当たる高齢者などに対する日常の買い物支援として、他都市での事例も参考に、移動販売車などの導入を検討すべきでは

答　買い物支援につながる他の手法もあることから、まずは市内における事業者などの移動販売車の取り組み状況を周知していく。

教育

子どもの安全安心のため学校園に見守りカメラの導入を

新和会　河村浩史

問　他都市で発生した保育士の虐待行為などを受け、子どもの安全安心のため、保育園や幼稚園、小学校などに見守りカメラを導入すべきでは

答　プライバシーの問題や画像の管理などの課題があるため、まずは研修や体制整備などにより職員の資質向上を図るとともに、公立保育園長会での議論や他都市の学校における導入事例の研究を行っていく。

PTA活動の現状認識と課題への今後の対応は

新和会　鳥井義徳

問　PTA活動の縮小により、教育活動や地域活動へ影響を及ぼすことを懸念するが、教育委員会として、今後対応していくことが必要では

答　活動に参加したくても参加できない保護者がある一方で、PTA離れが進んでいるとの指摘もあることから、PTA、学校園などと活動に係る諸問題について意見交換を行う場の提供を考えていく。

通学路のさらなる安全対策を

湖誠会　川口正徳

問　今冬の最強寒波による路面凍結では登校時間帯に交通事故が多発し、さらなる通学路の安全対策の必要性を痛感した。特に歩道の防護柵設置などが必要と考えるが、見解は

答　令和４年度からは交通安全施設整備費を増額し、事故の多発する交差点や通学路への防護柵設置などに重点的に取り組んでいる。今後も、関係機関と調整を図り対策を進める。

ストップマーク※の注意喚起効果の維持を

湖誠会　寺田英幸

問　ストップマークは、劣化や登下校の慣れにより注意喚起効果の薄まりが想定されるが、現在の効用は

答　ストップマーク配布時に継続的な点検を求め、貼り替えや新規設置の必要性を定期的に確認し、効果の維持を図っている。特に園児や低学年児童の目線で分かりやすく危険箇所を示す効果があり、より安全に行動する習慣付けに有効と考える。

ストップマーク

小中学校トイレ改修事業のさらなる加速化を

市民ネット21　草川肇

問　トイレ改修のさらなる加速化のため、ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング※の活用など、新たな財源確保を検討すべきでは

答　小中学校のトイレ改修事業については、令和５年度から、年４校に取り組みを加速化しており、当面はその経過を見守りつつ、財源となる国庫補助金の確保に引き続き取り組んでいく。

改修が進む学校トイレ

コロナ禍で得た知見を生かした教育活動の見直しを

市民ネット21　田中知久

問　コロナ禍の３年間で得られた知見を生かし、コロナ禍前までの教育活動を見直すことが、教育現場の働き方改革にもつながるのでは

答　ICTの活用が進展し、子どもの学びの広がりや教職員の負担軽減につながっている。今後もこれまでの経験に新たな手法などを取り入れ、時代に即して教育活動を改善し、働き方改革にもつなげていく。

多様性を認める時代にふさわしい校則の見直しを

協生会　出町明美

問　令和３年の質問でLGBTQ※の子どもへの配慮や不合理な規則の見直しなど時代にふさわしい校則への改善を求めたが、その後の進捗は

答　各校に校則内容の周知や児童生徒・保護者への説明などを指導・助言し、実際に見直された学校もある。今後は、現在策定中の市独自のガイドラインに基づく取り組みを各校に求め、状況を把握していく。

福祉・医療

プレコンセプションケア※の市民への啓発を

新和会　井内律子

問　プレコンセプションケアの考え方について、教育委員会との連携も含めて、市民への啓発が必要では

（次ページへ続く）

※ストップマーク　交通事故防止に向けた啓発として、市教育委員会が設置希望のあった小学校に配布し、通学路危険箇所の路面に貼り付けるシール

※プレコンセプションケア　女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み

※LGBTQ　レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル（両性愛者)、トランスジェンダー（見た目の性と実際の性が違う人)、クエスチョニングやクイア（性が決まっていない・決めていない人やそれ以外の人）の頭字を取った略称

※ガバメントクラウドファンディング　自治体が行う寄付制度で、寄付金の使い道を具体的に示し、共感した人から寄付を募る仕組み

答　プレコンセプションケアは、安心・安全で健やかな妊娠・出産、産後の健康管理を支援する上で、重要な取り組みであることから、教育委員会と連携するなど、若い世代からの性と健康に関する啓発に努めていく。

5類移行後の新型コロナ感染対策は

湖誠会　竹内照夫

問　新型コロナの5類移行により、外出自粛の要請などが大きく見直されることを踏まえ、市民への基本的な感染対策の正しい情報の周知が不可欠となるが、今後の取り組みは

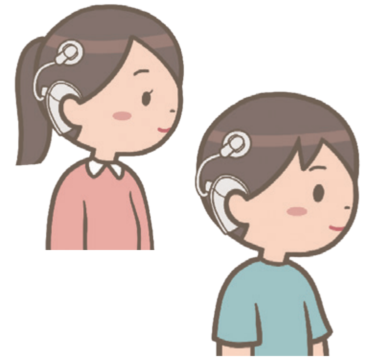
答　5類移行後も感染対策の継続は重要であることから、手指消毒や換気などの基本的な感染対策について、ホームページや広報紙、SNSを活用し、情報の周知に努めていく。

難聴者の生活の質向上に補助制度のさらなる拡充を

共産党議員団　立道秀彦

問　人工内耳※は難聴者の聞こえの補助に有効だが、一部の修理を除き維持に関する補助がない。多額の費用を要する体外装置の交換や充電池、充電器にも補助を拡充すべきでは

答　当事者のニーズや他の福祉用具との公平性を考慮し検討するほか、従来から補助対象である空気亜鉛電池に加え、令和5年度から充電池、充電器を補助対象とする予定である。



人工内耳（イメージ）

市民の困難に寄り添った生活保護行政を

共産党議員団　杉浦智子

問　困難を抱えた相談者や被保護者に対し、ケースワーカーが自分事として思いを共有し、対応することが大変重要と考えるが、見解は

答　相談者などに寄り添い、丁寧に傾聴することで、生活状況だけでなく生活上の困難への理解を深めることが重要であり、課題を共有し、自立に向けてケースワーカーが伴走することが求められていると考える。

困窮する市民のために生活保護制度のさらなる改善を

共産党議員団　林まり

問　光熱費などの需要増加に対応するため生活扶助基準に上乗せされる冬季加算は、必要な人には1.3倍となる特別基準がある。基準を満たす市民には職権による一律認定で、もれなく適用すべきでは

答　県から「適切な冬季加算の特別基準の取扱いについて」の連絡や、近隣中核市の適用状況などを踏まえ、令和5年度から適用を進める。

市政一般

ステークホルダー※との連携でSDGs※のさらなる推進を

新和会　神田健次

問　さらなるSDGsの推進を図っていくには、市単独での取り組みのみならず、ステークホルダーとの連携が必要だが、現状と今後の見解は

答　京都市や亀岡市などと連携した京滋SDGsプロジェクトなど、各自治体における取り組みへの協力などを通じてSDGsを推進しており、今後も環境や教育など、さまざまな分野で連携を図っていく。

人口減少に歯止めをかける全庁的な対応を

新和会　津田新三

問　本市の人口減少について、今後の取り組みと全庁を挙げて議論を始めることへの見解は

答　子育て支援や教育環境の充実、地域の魅力向上などにより、人を呼び込み、人口維持につなげる。また、国や県との連携による転入・定住の促進などを推進することに加え、庁内連携の下、各部局で人口減少対策を意識した取り組みを重ねていく。

今後の市民センターの在り方は

湖誠会　竹内基二

問　市民センターは住民と行政をつなぐ重要な存在と考えるが、今後の在り方に対する見解は

答　最も身近な行政サービスの窓口として、暮らしに寄り添った地域の行政拠点の役割を担っていく必要がある。また、支所機能に加えて、地域のコミュニティや防災の拠点としての重要な役割もあるため、36学区の市民センターを維持していく。

情報のユニバーサルデザインに向けた取り組みの充実を

公明党議員団　佐藤弘

問　音声コード※Uni-Voiceは無料アプリが利用でき、導入費用も安価に抑えられることから、視覚障がい者をはじめとした読みに困難のある方への合理的配慮として、市が発信する印刷物に導入すべきでは

答　視覚障がい者のニーズの把握や他の手法との比較で有効性について調査・研究していくとともに、その結果は関係部署とも情報共有を図る。

Uni-Voiceの活用事例
（東京都防災ガイドブック）

誰一人取り残されないデジタル社会の実現を

公明党議員団　改田勝彦

問　基幹業務システムの統一・標準化※に当たっては、システム移行の過程で業務の見直しを大胆に行い、書かないワンストップ窓口の実現など、真に効率的で住民サービスに資する変革につなげるべきでは

答　標準準拠システムへの移行を機に業務プロセス全体を見直すことで、さらなる行政事務の効率化と市民サービスの向上を目指していく。

マナースポットの適正な管理を

市民ネット21　奥村功

問　路上喫煙等の防止に関する条例に基づくマナースポットの設置に関し、周辺環境や吸わない人に悪影響を及ぼさないよう、設置後の状況調査も含め適正な管理を行うべきでは

答　マナースポットの周辺の美観が損なわれないよう利用者に対し啓発するとともに、清掃管理や周辺の影響の実地確認などを通して有効性を検証し、適正な管理に努めていく。

関係機関との連携により高齢者の免許返納の促進を

市民ネット21　船本力

問　高齢者が免許返納を前向きに行うことができる仕組みが必要であることから、免許センターなどの関係機関に対し、ドライバーの居住地域ごとの交通手段が分かる情報を提供するなどの連携が必要では

答　居住地域の公共交通に関する情報を提供することは、免許返納の促進につながると考えており、今後、関係機関へ働き掛けていく。

将来のまちづくりを担う技術職員の充足を

清正会　谷祐治

問　本市における土木職員の人員不足は、まちづくりに計り知れない影響を及ぼす喫緊の課題であることから、技術系職種を対象とした採用試験の在り方を見直すべきでは

答　スケジュールや試験内容など、民間企業や他都市の状況などを参考にしつつ、全般的な採用スケジュールと合わせ、採用試験の前倒しや試験期間の短縮も含めて検討していく。

高速道路の開通と合わせた市南部の地域観光の活性化を

立志会　青山三四郎

問　新名神大津スマートインターチェンジ（仮称）の開通に合わせ、地域の観光振興の観点から、従来のスポット型から広域的観光ルートへの移行も含めた誘客促進が必要では

答　源氏物語千年紀などのイベントの機会に誘客や広域周遊に取り組んできた。今後は、「光る君へ」の放送や国スポ・障スポの開催などの機会を生かし、誘客促進に取り組む。

広報PR

インターネット議会中継

本会議の模様をライブ中継・録画配信しています。パソコンはもちろん、スマートフォンやタブレットからも視聴できます。

大津市議会YouTubeチャンネル

大津市議会に関するニュースや現役高校生が出演した主権者教育に資するショートドラマなどを配信しています。

おおつ市議会だよりデジタルブック

おおつ市議会だよりがスマートフォン・タブレットからも読めます。『SideBooksちいき本棚』『マチイロ』のアプリを今すぐダウンロード！

マチイロ　SideBooks

※人工内耳　耳に電極を埋め込み、体外装置からの音を聴神経へ伝える装置

※SDGs　国連で採択された2016～2030年で達成を目指す17の目標が盛り込まれた持続可能な開発目標

※ステークホルダー　民間企業、NPOなどの団体、地方自治体などあらゆる組織の利害関係者

※音声コード　文字情報を約2cm四方の二次元コードに変換したもの。専用の機器やスマートフォンのアプリで読み取ることで音声化することができる。

※基幹業務システムの統一・標準化　自治体ごとに独自システムを使っている20の基幹業務において、全ての地方公共団体が2025年度中に標準準拠システムへの完全移行が義務付けられている。

議案の議決結果

２月特別会議・２月通常会議・３月特別会議に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

◆議員提案

会議案	件　　名	議決結果
第１号	市議会個人情報保護条例の制定	可決（全員）
第２号	市議会委員会条件の一部改正	可決（全員）

◆市長提案（※賛成、反対の双方あった議案は色付で表示しています。）

議案	件　　名	議決結果
第１号	R4 一般会計補正予算（第7号）	可決(全員)
第２号	上告の提起及び上告受理の申立て	可決(全員)
第３号	Ｒ５ 一般会計予算	可決(多数)
第４号	Ｒ５ 国民健康保険事業特別会計予算	可決(多数)
第５号	Ｒ５ 卸売市場事業特別会計予算	可決(全員)
第６号	Ｒ５ 財産区特別会計予算	可決(全員)
第７号	Ｒ５ 介護保険事業特別会計予算	可決(多数)
第８号	Ｒ５ 後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(多数)
第９号	Ｒ５ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決(全員)
第10号	Ｒ５ 学校給食事業特別会計予算	可決(全員)
第11号	Ｒ５ 病院事業債管理特別会計予算	可決(全員)
第12号	Ｒ５ 水道事業会計予算	可決(多数)
第13号	Ｒ５ 下水道事業会計予算	可決(全員)
第14号	Ｒ５ ガス事業会計予算	可決(全員)
第15号	市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定	可決(全員)
第16号	市職員の定年等に関する条例等の一部改正	可決(全員)
第17号	Ｒ５年度における市長等の給与の特例に関する条例の制定	可決(全員)
第18号	事務分掌条例の一部改正	可決(全員)
第19号	市職員定数条例の一部改正	可決(全員)
第20号	湖都大津まちづくり寄附条例の一部改正	可決(全員)
第21号	手数料条例の一部改正	可決(多数)
第22号	リサイクルセンター木戸設置条例の一部改正	可決(全員)
第23号	子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決(全員)
第24号	認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正	可決(多数)
第25号	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づく幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決(多数)
第26号	児童福祉法に基づく家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決(多数)
第27号	児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決(多数)
第28号	児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決(全員)
第29号	児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	可決(多数)
第30号	児童福祉施設条例の一部改正	可決(全員)
第31号	市立障害者通所施設条例の一部改正	可決(全員)
第32号	印鑑条例の一部改正	可決(多数)
第33号	太陽光発電設備の設置の規制等に関する条例の一部改正	可決(全員)
第34号	国民健康保険条例の一部改正	可決(多数)
第35号	医療費助成条例の一部改正	可決(全員)
第36号	コミュニティセンター条例の一部改正	可決(全員)
第37号	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決(全員)
第38号	大津祭曳山展示館条例の一部改正	可決(全員)
第39号	生涯学習センター条例の一部改正	可決(全員)
第40号	工事請負契約の締結（中消防署移転新築工事）	可決(全員)
第41号	〃　（中消防署移転新築電気設備工事）	可決(全員)
第42号	〃　（中消防署移転新築機械設備工事）	可決(全員)
第43号	〃　（唐崎中学校長寿命化改良等工事）	可決(全員)
第44号	〃　（唐崎中学校長寿命化改良等電気設備工事）	可決(全員)
第45号	〃　（唐崎中学校長寿命化改良等機械設備工事）	可決(全員)
第46号	〃　（晴嵐小学校長寿命化改良等工事）	可決(全員)
第47号	〃　（晴嵐小学校長寿命化改良等電気設備工事）	可決(全員)
第48号	〃　（晴嵐小学校長寿命化改良等機械設備工事）	可決(全員)
第49号	〃　（真野川橋（仮称）上部工工事）	可決(全員)
第50号	工事委託契約の変更（市道幹1009号線道路整備事業に伴う橋梁整備工事）	可決(全員)
第51号	〃　（市道幹2028号線道路整備工事）	可決(全員)
第52号	民事調停	可決(全員)
第53号	指定管理者の指定（大石緑地スポーツ村（一部を除く。））	可決(全員)
第54号	包括外部監査契約の締結	可決(全員)
第55号	公平委員会委員の選任	同意(全員)
第56号	Ｒ４ 一般会計補正予算（第８号）	可決(多数)
第57号	Ｒ４ 国民健康保険事業特別会計補正予算（第４号）	可決(全員)
第58号	Ｒ４ 卸売市場事業特別会計補正予算（第４号）	可決(全員)
第59号	Ｒ４ 財産区特別会計補正予算（第１号）	可決(全員)
第60号	Ｒ４ 介護保険事業特別会計補正予算（第４号）	可決(全員)
第61号	Ｒ４ 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第２号）	可決(全員)
第62号	Ｒ４ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第１号）	可決(全員)
第63号	Ｒ４ 学校給食事業特別会計補正予算（第４号）	可決(全員)
第64号	Ｒ４ 病院事業債管理特別会計補正予算（第１号）	可決(全員)
第65号	Ｒ４ 水道事業会計補正予算（第２号）	可決(全員)
第66号	Ｒ４ 下水道事業会計補正予算（第１号）	可決(全員)
第67号	Ｒ４ ガス事業会計補正予算（第１号）	可決(全員)
第68号	文化観光振興基金条例の一部改正	可決(全員)
第69号	市立森林キャンプ村条例の廃止	可決(全員)
第70号	財産の無償譲渡	可決(全員)
第71号	副市長の選任	同意(多数)
第72号	教育委員会委員の任命	同意(全員)
第73号	人権擁護委員の候補者の推薦	同意(全員)
第74号	Ｒ５ 一般会計補正予算（第１号）	可決(全員)
第75号	市税条例の一部改正	可決(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示しています。（○・・・賛成、●・・・反対）

会派名	新和会												湖誠会						公明党					市民ネット21					共産党					協	清	立
議員名／議案名	仲野弘子	八田憲児	幸光正嗣	津田新三	井内律子	笠谷洋佑	河村浩史	神田健次	鳥井義徳	西村和典	伴孝昭	細川俊行	近藤眞弘	川口正徳	寺田英幸	草野聖地	竹内照夫	竹内基二	濵奥修利	佐藤弘	改田勝彦	髙橋健二	中田一子	船本力	草川肇	奥村功	嘉田修平	田中知久	杉浦智子	立道秀彦	林まり	柏木敬友子	小島義雄	出町明美	谷祐治	青山三四郎
第３号、第４号、第７号 第８号、第12号、第21号 第24号、第25号、第26号 第27号、第29号、第32号 第34号、第56号、第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○

※　議長は表決に加わらないため「／」と表示しています。
※　会派の名称：公明党（大津市議会公明党議員団）、共産党（日本共産党大津市会議員団）、協（協生会）、清（清正会）、立（立志会）

市政 ビフォー・アフター

～議員の質問とその後を追跡しました～

ヤングケアラーの実態調査の実施

議員の質問

本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを18歳未満の子どもが日常的に行っているヤングケアラーについて、適切な支援や周知を行うため、アンケート調査などにより、市として実態を把握すべきでは

市の答弁

現時点でのアンケート調査などの実施は考えていないが、学校が児童生徒の生活状況を把握することは大切と考えており、市立小中学校に対し、ヤングケアラーの可能性があると把握している児童生徒の状況の調査および報告を求め、ケースに応じて福祉機関と連携するなど適切な支援につなげていく。

実現!!

本通常会議において、児童生徒およびその保護者を対象としたヤングケアラーを含む生活実態を把握するためのアンケート調査などに係る経費が予算措置されました。

学校夢づくりプロジェクト成果発表会の開催

議員の質問

本プロジェクトによる取り組みの成果などを児童生徒が発表する場を設けることは地域のまちづくりに貢献し、何より子どもたちに大きな経験と達成感をもたらすため、大変意義深いと考える。実施を検討すべきでは

市の答弁

新型コロナの影響もあり見送ってきたが、子どもたちの達成感の獲得や意欲向上の観点からも実施の方向で進めている。

実現!!

令和５年２月に、複数の市内小中学校の児童生徒、保護者、学校教職員などの関係者参加の下、子どもたちによる取り組みの成果発表会が開かれました。

学校夢づくりプロジェクト
成果発表会の様子

市民センターへの無料公衆Wi-Fi環境の整備

議員の質問

誰もがデジタル化の恩恵を享受できる社会の実現に向け、オンラインで学び合うことが容易になるよう、地域の拠点となる公民館などに通信環境を整備することが必要では

市の答弁

情報ネットワーク再構築の一環として、全ての市民センターへ無料公衆Wi-Fiを利用するための環境整備を検討しているところである。

実現!!

本通常会議において、全ての市民センターに順次、市民向け無料公衆Wi-Fi環境を整備するための経費が予算措置されました。

意見書

２月通常会議に提出された意見書案11件のうち、４件を可決しました。

- ▽　精神障がい者に対する医療費助成制度の拡充を求める意見書
- ▽　新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書
- ▽　地域のグリーントランスフォーメーション（ＧＸ）の促進に向けた支援を求める意見書
- ▽　認知症の方も家族も安心して生活できる社会の構築を求める意見書

請願

２月通常会議に提出された請願３件の審査結果は次のとおりです。

◆不採択となったもの

- ▽　大津市職員の定年引上げに関する請願
- ▽　敵基地攻撃能力保有と防衛費２倍化を行なわず、日本国憲法第９条に基づく平和外交を行なうことを求める意見書を採択するよう求める請願
- ▽　令和５年度大津市国民健康保険料の値上げ中止を求める請願

請願・意見書案などの内容や個別賛否はこちらから

大津市議会を もっと知って より身近に感じてもらうために

大津市議会のロゴマークができました!

つなぐ、つくる、みらいへ
大津市議会
Otsu City Council

大津市議会の認知度を高め、愛着心を醸成することを目的に、オリジナルのロゴマークを作成しました。

今後は、大津市議会の広報や情報発信に積極的に活用していきます。

ロゴマークのコンセプト

Otsu City Councilの頭文字をつなげた鎖のようなデザインで、情報共有と市民参加のある身近で親しみのある議会を表現しています。

濃い青は空、緑は陸、水色は湖を連想させ、大津市を表現しています。

おおつ市議会だよりがさらに新しくなります!

若い世代や市議会への関心が低い人にも大津市議会の情報を届けたい、伝えたい、つながりたい。そんな思いで、今号からおおつ市議会だよりを一部リニューアルしました。

「届く、伝わる、つながるおおつ市議会だより」をコンセプトに、次号からはさらに新しくなります。あまり市議会に興味のない人も、市議会についてもっと知りたい人も、手に取りたくなる議会広報紙を目指します。

リニューアル内容

- 発行回数は年4回へ
- 見やすいフルカラー16ページ
- 巻頭に特集を掲載
- 市民参加型企画考案中
- 動画や他媒体とのクロスメディア

おおつ市議会だよりは、市民の皆さんに大津市議会にもっと関心を持ってもらえるきっかけとなるよう、これからも積極的に情報発信をしていきます。

なお、発行回数が4回になり、今後は招集会議後に発行していた臨時号はなくなります。

次回は、招集会議・6月通常会議合併号として、令和5年8月1日に発行予定です。

〔問〕大津市議会局
TEL077-528-2640

お問い合わせフォーム

UD FONT おおつ市議会だよりでは、ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン文字を採用しています。